

宮城県総合教育センター所報 第5号



発行日 平成28年 2月18日
発行者 宮城県総合教育センター 所長 阿部 恒幸
〒981-1217 名取市美田園2丁目1番4号 電話：022-784-3541

「輝くみやぎの子どもたちのために」

副所長（兼研究研修部長） 岩間 孝一

たくさんの先生方の受講に感謝します。

今年度当センターが開催しました研修会は全部で117講座。延べにしますと442日にもなります。県内各幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校からたくさんの先生方に受講いただきました。ありがとうございました。

今年度の専門研究の研究成果物にも御注目ください。〈裏面参照〉

授業改善・学力向上や防災教育など6つの専門研究グループが本県教育課題に取り組み、解決の一方法を提言します。各学校の課題解決にぜひお役立てください。

平成28年度開設の研修会も御期待ください。

アクティブラーニング等の次期学習指導要領を見据えた研修内容、講師陣をそろえるなど、先生方のニーズ、御期待に最大限応えることができるように工夫・改善しております。3月の早い時期に「研修ガイドブック」が各学校へ配布されますので、それを参考に今年度中に来年度の自己研修計画を立ててみてはいかがでしょうか。たくさんの先生方の受講をお待ちしております。



センター耳より★情報

「子供のころサポートサテライト研修会」の御案内
震災後期における児童生徒の様々な不応症に対応するため、平成26年度より実施している研修会です。サテライト方式で実施し、来年度は夏季休業中に全ての研修を行います。講師はホワイトボード・ミーティングの開発者であるちょんせいこ氏及び認定講師で、ホワイトボードケース会議についての研修を実施します。是非御参加ください！！

石巻会場：石巻専修大学（8月2日）

気仙沼会場：気仙沼市本吉公民館（8月5日）

名取会場：宮城県総合教育センター（8月9日）

（教育相談班より）



本年度研修会の様子

教育文献データベース

当センターWebページでは、「教育文献データベース」を公開し、全国各都道府県、各大学、教育研究団体の研究紀要等の最新目次情報を公開しています。キーワードで検索できますので、お求めの資料を検索して下さい。また、当センターで取り組んだ研究報告書、補助資料、開発教材、学習指導案等を公開しています。是非御活用下さい。（研究開発班より）

今日の授業タブciao！（チャオ）

公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター主催、平成27年度第31回学習デジタル教材コンクールにおいて、平成26年度情報教育研究グループの作成したタブレット端末をすべての教員が学習のねらいに応じて活用できるよう作成した実践ポイント集『今日の授業タブciao！（チャオ）』が、文部科学大臣賞に次ぐ「学情研賞」を受賞しました。教員のICT活用指導力が向上し、児童生徒の学習効果が高まることを期待します。（専門教育班より）

平成27年度長期研修 専門研究員グループ研究

<授業改善・学力向上研究グループ>

児童生徒の学力向上を目指す授業改善

— 学習意欲を引き出し、学習習慣の形成を図る算数・数学科の指導の在り方 —

算数・数学科において、授業での目標の示し方や振り返りのさせ方、家庭学習の取り組ませ方に課題が見られます。そこで、それらの解決のために授業改善を図り学力向上を目指す「学習意欲向上サイクル」を提案します。

<理科教育研究グループ>

児童の科学的な思考力・表現力の育成を目指す理科授業

— 異なる単元で習得した知識や技能を活用する授業の提案を通して —

科学的な思考力・表現力の育成には、様々な単元で習得した知識や技能を活用して、適切な解を求めていく学習経験が大切です。そこで、異なる単元で習得した知識や技能を活用して問題を解決する「授業アイデア集」を提案します。

<教育相談・生徒指導研究グループ>

よりよい人間関係を主体的に築く児童生徒の育成

— 絆づくりプログラム2「集団づくり」指導パッケージの開発と活用を通して —

いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題は人間関係に起因するものが多い現状です。人間関係を築く力は学校生活のみならず生涯にわたって必要となります。そこで、児童生徒が学級に様々なつながりをつくり、交流の楽しさと大切さを実感する「集団づくり」指導パッケージを提案します。

<情報教育研究グループ>

ICT活用指導力の向上を目指す研修の推進

— タブレット端末活用動画集の作成と研修の提案を通して —

ICT活用指導力は、児童生徒の学習内容の理解を深める上で、全ての教員に求められている能力とされています。そこで、教員が今まで培ってきた授業スタイルに加え、タブレット端末を活用した指導ができる研修を推進するためのタブレット端末活用動画集「+タブレ」を提案します。

<防災教育研究グループ>

宮城県の防災教材を活用した防災教育の恒常化の推進

— 「みやぎ防災教育ツールボックス」の開発とその活用の提言を通して —

東日本大震災を大きな教訓として、各学校では、地域や学校の実態に応じた防災管理や防災教育の充実を図ってきました。自然災害から子供の生命を守るために、今後も防災教育を恒常的に推進することが大切です。そこで、データベース型防災教材とその活用方法を提案します。

<特別支援教育研究グループ>

高等学校における発達障害等のある生徒への支援の推進

— 「みやぎサポートシート」を活用したチーム支援の提案を通して —

高等学校において、発達障害等のある生徒への支援が大きな課題となっています。そこで、それらの解決のために「みやぎサポートシート」を開発しました。これを活用した少人数の情報交換から始めるチーム支援をとおして、発達障害等のある生徒への支援の在り方を提案します。

指導主事と専門研究員による共同研究及び長期研修員の研究主題・副題及び概要については、総合教育センターWebページで公開中ですので、ぜひ御覧ください。

(<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/training/list/> 「研修事業詳細」ページ

→【総合研修】までスクロール→114 長期研修員研究発表会→実施要項)

なお専門研究員・長期研修員の成果は3月14日(月)に総合教育センターWebページ「専門研究・長期研修成果」内に掲載予定です(<http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/study/>)。各学校での効果的な活用を願っております。

